

## 2000マイクロマシンアジアミッション

マイクロマシンアジアセミナー開催の際に、現地の関連機関の見学と意見交換を行いました。

訪問場所：SIRIM Berhad マレーシア、クアラルンプール

日 時：11月20日(月)

面 談 者：Dr. Mohd Shazali Hj Othman, Mr. Yahaya bin Ahmadほか

概 要：SIRIM Berhadは1975年に設立された工業技術に関する標準化と研究開発を行っているマレーシアの政府機関で、1996年にマレーシア政府が所有する会社組織となりました。中小企業への技術支援にも力を入れています。

コンピュータトレーニングルーム、マシンショップ、電気自動車用バッテリー充電器、溶接ロボット用治具、パティック(布)用のドラフトマシン等の試作機およびショールームを見学しました。マイクロマシン等の先端技術に関しても事業に繋がるようであれば積極的にサポートしていきたいとのことでした。

訪問場所：Gintic Institute of Manufacturing Technology、シンガポール

日 時：11月24日(金)

面 談 者：Prof. Dr. Wangほか

概 要：Ginticはシンガポール市内から20Km西のJurong市郊外のNanyong工科大学構内にある研究機関です。研究部門は、Automation Technology、Manufacturing Technology、Process Technologyの3つのセクションで構成されています。2000年時点で、375人のスタッフ（そのうち研究者は70%）を有し、年間の研究費は60Million \$の規模だそうです。

訪問場所：Nanyong工科大学、シンガポール

日 時：11月24日(金)

面 談 者：Dr. Miao Jianminほか



SIRIMでの見学

概 要：Nanyong工科大学Micro Machine Laboratoryは、同大学の機械工学科のラボとして、3年前に設立されました。12名のリサーチャー、5名のリサーチフェロー、約20名の学生から構成されます。200m<sup>2</sup>のクリーンルーム内にMEMSに必要な一通りの設備を保有し、加速度センサ、流体デバイス、光学デバイス、TiNiのマイクログリッパ、等の研究を進めています。今後の研究成果が大変期待されます。

訪問場所：National University of Singapore

日 時：11月24日(金)

面 談 者：Prof. Francis E.H. Tay

概 要：シンガポール大学機械工学科のDr. Francis E.H.TayのMEMS LABを見学しました。MEMS LABでは、トンネル現象を使ったマイクロジャイロ、マイクロポジショナー、バイモルフアクチュエータを使ったマイクロポンプ（インシュリンの投与がターゲットとのこと）、振動型圧力センサ等の研究の紹介を受けました。振動型マイクロセンサの特許を多数取得していること、センサの製作にはクロノスのファウンドリーサービスを利用していること、等の説明を受けました。

訪問場所：Economic Development Board

日 時：11月24日(金)

面 談 者：Mr. Wong Peng Wai ほか

概 要：Economic Development Board (EDB) を訪問し、マイクロマシン/MEMSに関する情報、意見交換を行いました。EDBは、シンガポールのMinistry of Trade & Industryの一組織です。ミーティングには、EDB以外からも、本技術に関する大学、研究機関、企業から多くの人に参加されました。シンガポールの状況説明を受けるとともに、マイクロマシン/MEMS技術を含めた新技術の事業化について意見を交わしました。



GINTICでの見学